



武庫川女子大学 経営学部

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46 TEL:0798-45-3530(直通)
<http://www.mukogawa-u.ac.jp/>

武庫川女子大学 経営学部

社会と交流しながら学ぶ3つの実践科目

学内外を学びのフィールドにする3つの実践学習科目を用意しています。社会課題を直接体験すること、自己の適性に気づくことを目的として、1年次後期より開始します。『実践学習センター』によるサポートのもと、めざすキャリアに応じてさまざまな企業や団体、地方自治体などで実施します。

I インターンシップ

仕事を肌で感じ、自分を知る

国内外の企業、官公庁、非営利組織などにおける就業体験を通じて、実社会の課題を学ぶとともに、自分自身の適性や能力を理解します。

例えば…

- 実際に職場を訪問し、さまざまな仕事を学ぶ
- 指示されたテーマについてプランを練る
- 自分たちが考えたプランを発表する
- 商品開発や販売を実際に体験する

II サービスラーニング

新しい視点で社会課題に取り組む

社会人として、また市民として、地域におけるボランティア活動に参加。協働を通じて新しい視点を得ると同時に、多様な課題解決を経験します。

例えば…

- 地域のボランティアに参加する
- 子育て支援に参加する
- 高齢者支援に参加する
- 地域交流イベントを手伝う

III フィールドワーク

足を使い現地で集める生きたデータ

企業、消費者、地域文化など、自分の興味・関心のあるテーマに即した現場に身を置き、観察や聞き取り・アンケート調査などを通してデータ収集を行います。

例えば…

- 商店街を調査する
- テーマを決めてインタビューする
- テーマを決めてアンケートをする
- 地方の魅力を探す

インターンシップ

新型コロナウイルスの影響で落ち込む西宮の経済を元気にするプロジェクト

西宮商工会議所 & 西宮市役所

西宮市内の店舗を回り、アマビエステッカーを配布

新型コロナウイルスの流行によって、売り上げ減少などの影響を受けた西宮市内の店舗を学生たちが訪問し、西宮市の経済が元気になることをめざして活動を行いました。

主に飲食店を回りましたが、今回の訪問活動では、西宮市が作成した『アマビエ』ステッカーを配布するとともに、各店舗の新型コロナウイルス対策に関する調査も行いました。具体的な活動内容としては各店舗の感染症対策をお店の方々とコミュニケーションしながら確認させていただき、『アマビエ』が描かれたカラフルなステッカーを配布するというものです。ステッカーに描かれている『アマビエ』とは、古来から疫病などに関する予言をしたと言い伝えられている日本の妖怪です。また、西宮市内の店舗経営者らを対象とした新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート調査の結果集計や分析を行い、分析結果の発表も行いました。



学生 MI

ステッカー配布を通じ、コロナが地域の店舗や商店街に大きな影響を与えていることを実感しました。また、初対面の人への説明力、質問への対応力が身につきました。

インターンシップ

尼崎プロジェクト横断インターン「あまがさきキューズモールイベント企画」

株式会社ここにある

商業施設でお使いイベントを実施して成功！

尼崎でさまざまな場づくりの試みを行う『ここにある』の活動に参画し、地域との連携を強めながらともに活動するプロジェクト。地元地域である尼崎を深く理解しながら、場づくりの意味や問題も理解していくことが目的です。

具体的には、尼崎にある『あまがさきキューズモール』で子ども参加型のお使いイベント『おつかいチャレンジ』を企画・運営しました。当日の運営のほか、ボランティア集めやキューズモール担当者様との折衝も担当。チラシの作成や配布、SNSでの集客活動も行い、2日で定員が埋まる人気イベントに仕上げました。コロナ禍でも安全に配慮できる方法を編み出すなど、途中に立ちほだかる障害を乗り越えながら見事に成功させ、キューズモール担当者様からも「今後も定期イベントとして開催したい」と評価されるほどの仕上がりでした。



教授 福井 誠

多くの困難を乗り越えて掴んだ成果は期待以上でした。今後、全国各地に展開可能なレベルにまで仕上げた活動は、学部が掲げる「しなやかさ」そのものです。



学生スタッフ一同

実際に行動して初めて見える課題も多く、子どもたちと関わるたびに改善しながら品質を高める経験ができました。また、子どもたちと保護者、両者の笑顔に嬉しさとやりがいを感じました。

フィールドワーク

阪神KANお散歩マップ制作&プチモデル体験

阪神間連携ブランド発信協議会(神戸市東灘区、芦屋市、西宮市、阪神電気鉄道株式会社)

パンフレットや情報誌の制作や情報発信について学んだ

阪神間モダンズムや関連するテーマに沿って制作されている、計6回シリーズのパンフレット『阪神KANお散歩マップ』の制作現場への参加や情報発信の業務を担当しました。

具体的な活動内容としては、まずマップ2種類に掲載されている場所を実際に巡り、さまざまな角度から阪神間モダンズムの上質な文化に触れました。その後、マップ片手に巡って感じたマップの良かった点や改善点、感想などをレポートにまとめ、その内容を報告しました。さらにマップ片手にスポットを巡りながら写真撮影も行い、撮影した画像を阪神間連携ブランド発信事業の公式Instagramで投稿する業務も担当しました。

また沿線情報誌『ホット! HANSHIN』12月号の特集に、モデルとして取材・出演したほか、会議にも参加し、企画業務の現場を体験しました。



准教授 神栄 美穂

「女子大生」と「企画側」の両方の視点を持ちながら、阪神沿線の魅力をより良く伝えるためにはどうすればいいかを考える絶好の機会となりました。



六甲ミーツ・アート 芸術散歩2020フィールドワーク

六甲山観光株式会社

アートイベントを舞台にインタビュー調査や分析を実施

現代アート展覧会「六甲ミーツ・アート芸術散歩」会場で、インタビューをもとにイベントの評価や、意見を集約して今後のイベント活性化の参考にしてもらうための報告書を作成しました。

最初にインタビューを実施する際の質問項目を作成するため、学生自身が来場者の一人として展覧会を見学し、さらに会場で来場者を観察しました。会場内に12あるエリアごとに自分の主観的な感想と来場者を観察した結果をプロジェクトに参加している学生同士で発表して議論し、質問項目を作成していきました。加えて、インタビューフローも事前に作成し、インタビューアごとに内容がブレないようにしました。学生が実施した来場者インタビューは合計100組に達しました。

次に調査から得た意見と六甲山観光が実施したアンケート調査の分析も行い、イベントの評価、今後の展望などに関する報告書を完成させました。



教授 西道 実

山上で100組のインタビューを課したので、途中で音をあげるかと思いきや、彼女たちはのべ6時間で達成。驚嘆して音をあげたのは私でした(笑)

乗車券のQRコード化による新たなサービスの考案

阪神電気鉄道株式会社 都市交通事業本部 電気部通信課



新技術『QRコード乗車券』実現への取り組みを体験しました

阪神電気鉄道で実証実験中だった『QR乗車券』の実用化に向けた調査と『QRコード』を活用した新サービスの考案を行いました。

『QR乗車券』については、まず『QR乗車券』の体験や通常の磁気乗車券のニーズ調査を行いました。さらに社員から現在の改札機の問題点などをヒアリングした後、『QR乗車券』の体験乗車を行いました。その後、グループでの議論や調査を行い、体験乗車時の使用感や『QR乗車券』の利便性向上アイデアを報告しました。

さらに、乗車券に限らず『QRコード』を利用した新たなアイデア考案に取り組みました。今回は観光スポットの入園券などと乗車券が一緒になった『企画乗車券(セット券)』を『QRコード』化する場合の改善案について調査や検討をしました。

最後に報告資料をまとめ、阪神電気鉄道の本社で社員の皆さんに向けて最終報告を行いました。



教授 宗平 順巳

サービスデザインの実践に最適な題材で、女子大生×鉄道のコラボは、おじさんでは発想できないアイデアや気づきを生み出してくれました。

西宮の魅力を発信するギフト商品の開発とオンライン販売応援プロジェクト

西宮商工会議所

新商品開発や販売促進に参画して実社会の仕事を学ぶ

新型コロナウイルスによる影響を受けた地域経済の早期復活、新しい生活様式に合わせた非対面型ビジネス転換の推進のために、市内事業者のEC化促進と売上回復を目的として、西宮地域に特化したギフト商品の開発と販売を支援するパッケージを提供する業務に参加しました。この活動では、6~7人でチームを作り、企業の新たな商品開発業務と開発した商品の販売サポート業務を行いました。

4か月間のプロジェクトで、大学の講義で学んだマーケティング知識を活かして商品開発を完成させるという達成感を味わうことができました。同時に、大学で学ぶ知識は実社会でも生かせることも強く実感しました。大学での授業や学びを大切にしていきたいという想いがこれまで以上に強くなりました。そのほか、現場仕事の大変さや難しさを体感したり、問題解決力とコミュニケーション力の必要性を実感しました。



学生 AK

商品開発は、発想力以前に文化性、社会性、その会社への理解などが必要だと学びました。商品開発の過程やターゲット&価格の設定、商品の差別化なども学びました。



ONthe UMEDA「コワーカー図鑑」製作プロジェクト

株式会社まなれば (ONthe UMEDA)

図鑑作成を通じてコワーキングスペースの本質を学ぶ

コワーキング利用者をキャラクター化した『コワーカー図鑑』の制作を通して、コワーキングスペースの業務や本質を学ぶとともに、そこに集う人々と交流できました。

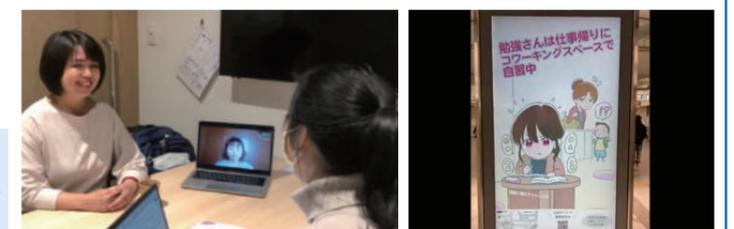
活動内容としては、主に利用者へのインタビューなどで情報収集を行った後、集めた情報を整理してキャラクターに落とし込む作業を行いました。またキャラクター化以外に取り組んだのは、イラストやポスター、LINEスタンプの制作などです。プロのイラストレーターと共同でアイデアを出し合いながら制作に取り組むなど、これまでしたことのない新鮮な体験ができました。

さらに、週一回のミーティングや会議への参加、利用者インタビューに同席する機会もありました。会議の場で自分のアイデアを出すために、事前にひとりでアイデアを考えたり、アイデアを探しに行きましたが、そうした時間も楽しく取り組みました。



学生 HN

会議と個人作業のバランスが良く、楽しく取り組みました。また、コワーカーが動く雰囲気を実感できたので、改めてコワーキングの良さも学ぶことができました。



「変えます！にしのみや。市への提言2020」～西宮市の事業系一般廃棄物の減量を目指して～

西宮市役所環境局環境事業部美化企画課



体験を通じて事業者側の視点を学ぶ

4カ月にわたって西宮市の廃棄物に関する現状や西宮市による取り組みの歴史などを学び、事業系廃棄物の現状を現場での体験を通じて体感しました。
また実際に複数の事業者様とのディスカッションも行い、多角的な視点から課題解決のヒントを探りました。これらの情報をもとに、以前公務員として働いていた経営学部の金崎健太郎先生の指導のもとで現状分析を行い石井西宮市長への政策提言をまとめました。
今回、ポイントになったのは家庭から出るゴミではなく、飲食店や企業などから出る事業者のゴミを減らすという点。そのため、私たち学生は事業者側の視点に立つことが求められました。どうすれば事業者はゴミを減らしたくなるか、リサイクルを推進するようになるのか、経営学部の授業などで学んできたことを活かしながら考えをまとめていきました。



石井西宮市長への政策提言



学生 MO

どうすれば事業廃棄物を減らせるかを考え続けたので、街でゴミや分別方法などを気にするようになりました。あと、直接市長に報告する貴重な機会をいただき感謝しています。

外国にルーツを持つ子どものための 教科学習支援教室「ふでばこ」の運営体験

公益財団法人 西宮市国際交流協会

日本語の力が十分でない子どもたち向けの教室運営をサポート



外国にルーツを持ち、日本語の力が十分でないために学校の勉強が難しい子どもたちに勉強を教えたり、居場所づくりをするボランティア活動が「ふでばこ」です。
今回は、この「ふでばこ」の活動にオンラインで参加しました。子どもの状況や希望を聞きながら、算数や音読、漢字の書き取りといった宿題や苦手な教科の勉強の手伝いをしました。そのほか、活動に参加してくれる学生を募集するためのポスター制作をしたり、ゲーム教材やクロスワードパズルなどを作成しました。

KOBEにさんがるくプロジェクト

神戸市

神戸市の地域経済や行政支援策などの理解を深めた



「KOBEにさんがるくプロジェクト」の中のクリエイターと学生チームをマッチングさせ、幅広い視点でクリエイティブな活動を行う「ノーギョ・ギョギョ・ギョギョー ラボラトリーズ」プロジェクトに参画しました。この中で、神戸の農漁業をテーマとした制作活動をクリエイターの皆さんと取り組みました。
具体的な活動内容は、神戸市の農漁業の魅力と課題を学び、解決に導く方法などをチームで議論しながら検討したほか、他大学の学生達と交流しました。
さらに、話し合った課題や解決方法をチームで発表しました。

化粧品のトレンドを探るフィールドワーク

神楽美穂先生

フィールドワークを通じてトレンド情報を収集・分析



雑誌やSNSなどで取り上げられている発売中の化粧品、新発売の化粧品、そしてまだ世の中には出ていない開発段階の化粧品まで、さまざまな製品を自ら見聞きたり触れながら、化粧品のトレンド情報を収集しました。

実際に国際化粧品展や百貨店、スーパーなどの化粧品売り場などを訪れてフィールドワークを実施したほか、美容雑誌や業界紙、SNSなどの2次データも収集。最終的に、それらの情報を分析して「コスメトレンドレポート」として冊子にまとめました。



トランジットclass2_スタッフインターンシップ

株式会社トランジットジェネラルオフィス

カフェの運営、メニュー開発、店舗改善などに携わった



武庫川女子大学経営学部構内に新しくオープンしたカフェテリア「ENSEMBLE」で、店舗スタッフとして実務研修を行ったり、新メニューの開発や店舗改善施策の提案などに取り組みました。

さらにカフェ運営スタッフとともに、売上アップをめざした新メニュー開発を行い、学生に受けそうなメニューや価格帯、ボリューム感などのアイデア出しや検討に参加し、商品化を実現しました。

そのほかラテアート研修など、将来カフェで働くためのスキルアップにも取り組みました。



コーヒーを核とした 新しいものを創造するプロジェクト

ネスレ日本株式会社

女子大生の目線で新しいコーヒーの可能性を提案！



最初にコーヒーの歴史・生産方法・ビジネスモデル・機能性などを学びました。次に、若い人がコーヒーへの関心を高める方法を考えたり、新商品や新サービス、新たな販売方法や訴求方法といったコーヒーの新しい可能性について、論文を調べたり自分で実施したアンケート結果をもとに、アイデア出しや議論を繰り返しながらブラッシュアップしました。

さらにネスレスタッフからアドバイスを受けながら結果を最終報告し、完成したアイデアをポスターや動画にまとめ、「武庫女スマイルフェス」で発信しました。



淡路島場づくりプロジェクト

株式会社ここにある

馬を中心とした地域交流の機会を創造



淡路島で競走馬として走れなくなった馬をもらい受けて場づくりをするシェアホースアイランドの活動に参画しました。活動目的は、高齢化や人口減少の進む地域住民と、学生や地域活動を行う人々との交流です。

具体的な活動としては、夏から冬にかけて淡路島を訪れ、草刈りや整地などに取り組みながらプロジェクトや場の理解を深めましたがさらに地元の人との交流を深めるべく、コロナ禍への対策も含めたクリスマスパーティーを企画、運営。パーティーでは多くの人が施設を訪問してくれました。



#SASS2020「大学生による中高生のためのSDGs/サスティナビリティアワード」

慶應義塾大学 横田ゼミ自主ゼミ

SDGsのビデオアワードをインカレのゼミで運営



「SASS2020」の運営を大学生が中心となって実施。慶應義塾大学の自主ゼミを母体とした多くの他大学の学生と共に、募集、オンラインイベント、1次審査などを行いました。このイベントには全国の中学や高校より25校・143作品・619名が参加しました。35組のファイナリストを選出する一次審査にも参加、武庫川女子大学経営学部賞を含む賞を選定して表彰しました。この活動で、武庫川女子大学経営学部のアドミッションポリシーを広く全国の高校生に伝える役割も担いました。



神戸・三宮に「親子の世界をひろげるサードプレイス」をつくる！

lavieestbelle株式会社

オープンプロジェクトならではの貴重な経験をしました



施設オープン前からプロジェクトに参加しました。イベントで子どもや保護者にヒアリングしたほか、チラシのラフ案作成、看板づくりなどにも取り組みました。また、議事録作成や会議での発言方法など、社会人として仕事をやる上で大切なことも学びました。さらに、SNSフォロワーへのアンケート調査、競合調査、さらに調査結果から他施設と差別化できるイベント内容を提案したりしました。また、施設オープン後は施設のInstagramを使ったSNSマーケティングに取り組み、広報活動のサポートをしたほか、最後の報告会では今後の経営戦略などの提案も行いました。



わたしのキャリア研究会(わたキャリ)

NPO法人コミュニティ事業支援ネット(主催:兵庫県)

ライフプランを考慮した「就職」や「働く」を考える



就職活動前から企業と一緒に取り組む企業研究プロジェクトなどを通じて、自身のライフプランを見据えながらの就職活動を目指すとともに、キャリアプランニングや継続して働くことの大切さを学ぶプロジェクトです。県内他大学の1・2年の女子学生も参加する中、女性管理職向けライフプランやワークライフバランスの実現方法などを考え、発表しました。また製造業を営む企業的女子採用を促進するために必要な工夫、採用にSNSを活かす方法、女性目線の商品開



ひょうごアンバサダーインターンシップ

兵庫県経営者協会 株式会社ホンダカーズ兵庫
金井ホールディングス株式会社(金井重要工業・トクセン工業)
株式会社ダイネンヒューマンplus(就職サイトはりまっち)

さまざまな企業でのインターンを経験

兵庫県経営者協会の主催する兵庫アンバサダーインターンシップの一環で、阪神エリアを中心に展開するのカーディーラー(株)ホンダカーズ兵庫、100年を超える歴史を持つ(株)金井重要工業、播磨地域で就職サイト、就職支援イベントを運営する(株)ダイネンヒューマンplusでインターンを経験。就職活動前に経験することが多いインターンを1年生の段階で経験することで、大学での学びの意味を再発見しました。



こどもの職業・社会体験施設「キッズニア」インターン

KCJ GROUP株式会社(キッズニア甲子園)

「他の誰かのためになる」ことを考えながら行動できた



キッズニアで働くスタッフ全員が受講する初期研修に参加後、実際にパピリオンで職業体験を提供する現場で働きました。結果、子どもたちや保護者の方々との関わり方、キッズニアのサービスの根幹となるアクティビティについて学びました。さらに、実際に働いているスタッフの方3名にインタビューを実施。最後に、実習やインタビューをもとにパワーポイント資料を作成し、報告プレゼンテーションを行いました。



学生ライタープロジェクト

株式会社まなれば(OBPアカデミア)

コワーキングでのイベント受講内容を情報発信

大阪・京橋のOBPにあるコワーキングスペース「OBPアカデミア」で、学生たちは開催されている多くの講座の中から興味のある講座を受講。その後、受講した講座の内容をまとめたレポートを作成しました。レポートは「自分の学びや感想をベースに、第三者が自分もこの講座を学びたいくなるよう」という視点でまとめられ、OBPアカデミアがSNSなどで発信。学生は様々な学びや大人との関わりの中で刺激を得ながら、企業の情報発信をサポートしました。



六甲ミーツ・アート 芸術散歩2020 インターン(設営・運営)

六甲山観光株式会社

アートイベントの設営や運営に参加



六甲山で開催された現代アートの展覧会「六甲ミーツ・アート芸術散歩」の設営と運営に参画しました。設営参画としては、開催前の期間に会場清掃や制作を手伝いました。運営は、展示作品の欠損確認や、開催中の会場巡回、コロナ感染対策の確認などを担当しました。ほかにも、徒歩移動で利用する散策路に危険がないかの点検や、体験型イベントのスタッフ、屋内会場の受付などの業務を担当しました。

トランジットclass1_マーケティング_グッズ開発

株式会社トランジットジェネラルオフィス

オリジナルノベルティグッズの企画開発を担当

トランジットジェネラルオフィスのスタッフの皆さんと、武庫川女子大学経営学部オープンキャンパス用のオリジナルノベルティグッズ開発を行いました。最新のトレンドを意識しながら、オープンキャンパスに訪れる女子高校生の感性にマッチするグッズの開発をめざし、市場調査から企画段階までを担当しました。また、街の人気カフェの繁盛理由やSNSの発信内容分析、メニューのトレンド調査、マーケティング調査・レポート作成など、多くのことを経験しました。



大企業の課題を解決するビジネスアイデアを提案せよ！「キャリアインカレ2020」

株式会社マイナビ

コンテスト参加を通じて、チーム運営などを学んだ

企業の「リアル課題」を解決するアイデアを競う大学生のビジネスコンテスト「キャリアインカレ2020」に参加しました。これは書類審査・プレゼン動画審査・準決勝大会、決勝大会を経てNo.1を決めるというものです。企画書や審査用動画の作成、審査後の振り返りを通じ、「答えのない問い」との向き合い方やチームでプロジェクトを進める技術を学んだほか、動画をはじめとする多彩なアウトプット手法を実践しました。



誰一人取り残さない地域づくりを体験してみよう

NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸

社会課題を解決する地域活動に参加



神戸東地域の中間支援NPOであるNPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸のボランティアプログラムに参加し、いろいろな地域活動を体験しました。例えば、コロナ禍によって作れなくなった地域の「場」の代わりに、zoomやLINEの使い方をレクチャーすることでシニア世代の皆さんが孤立しないように支援したり、地域のお店を訪問して、車いすでも移動しやすいルートを表示するアプリサービスをPRする活動に参加しました。

地域資源を活用した「梅シロップ」商品化プロジェクト

ブルーダイヤファクトリー&6th株式会社

埋もれた地域資源を活用して地域課題解決をめざす



地域ではあまり活用されてこなかった梅シロップをメーカーと一緒に商品開発するプロジェクトです。担当企業はブルーダイヤファクトリーで、原料の梅のつけ込みは和歌山県みなべ町、販売は宝塚販売所が担当していただきます。



まず、梅シロップや梅ジャムについて学び、現地視察、調理実習、販売体験などに取り組みました。地域資源の有効活用によって地域課題の解決をめざす取り組みとなりました。

高校生の発表会をサポートする！「附属高校で授業をしてみよう！」

武庫川女子大学附属高校

高校で授業をしつつポスター制作をサポート



武庫川女子大学附属高校の2年生を対象に、SDGsをテーマとした発表用ポスター制作のための授業を行いました。前半の授業では武庫女の経営学部について、後半の授業はポスターの作り方に関してです。その前に正しい授業ができるようにSDGsの簡単な概要を学んだり、良いポスターと悪いポスターのサンプルを比較し、学生間で意見交換しました。また、授業前には声の大きさや速さなどを確認しながら練習を重ねました。

尼崎市武庫地区住民有志と開催するイベント「オトナのまなびバル」の企画補助、運営補助

尼崎市役所 武庫地域振興センター 武庫地域課

自分たちでイベントを運営し、その参加者から学ぶ

尼崎市の武庫地区の皆さんとともに『オトナのまなびバル』というイベント運営を行うプロジェクト。めざすのは、地域住民に学びを提供し、得た学びを地域活動に還元するサイクルの構築です。実際に、自らの知識や得意なことを教え合い、共通の興味や関心を持つ者同士がつながるきっかけを作るイベントを、地域住民の方と一緒に実行委員となって運営しました。立場や世代、職種を超えた多くの方から、多くの学びを得ることができました。



3時間でできるボランティア活動「ボランティアスタイル」の企画・運営

社会福祉法人大阪ボランティア協会

ボランティア活動を行い、未来の社会や活動について議論

山に登りながらゴミを拾うボランティア活動「山歩きクリーン」に参加し、食べ物のゴミ、空き缶、ペットボトルなどを大量に拾いました。さらに、落ち葉を道端から拾い山に返すプロジェクトにも参加しました。



また、創出会議という1泊2日のイベントに参加し、大阪ボランティア協会の将来について語り合うとともに、新型コロナウイルスにより変化した世の中で、今後の活動方針を検討する議論にも参加しました。



まちづくりをテーマに学生×社会人が交流できる企画&広報を担うインターン!

神戸ソーシャルキャンパス(NPO法人しゃらく)

イベント企画やSNS投稿などの広報活動に力を入れた

神戸の大学に通う学生交流イベントの企画・運営を行いました。イベント前には、イベント名、ノベルティグッズやロゴ、広報活動のほか、参加費決定など運営の中核の仕事も担当。中でも広報に力を入れ、Instagram投稿や配布用チラシの制作などを積極的に行いました。緊急事態宣言要請でイベント中止となりましたが、今後の開催につながる経験と学びを得られました。



地域コミュニティづくりを学んで地域活動のつくり方を考える

6th株式会社

街の活動をリアル体験することから学ぶ

門戸厄神地域活性化実行委員会に関わり、街の活動を参加体験するプロジェクトです。



門戸厄神地域の「門戸井戸端会議」や毎月末土曜日の朝市に参加しました。これらの場を通じて地域住民とのコミュニケーション方法などを学びました。



さらに、リニューアルした門戸寄席で席亭のご夫妻をインタビューし、地域でつくるフリーペーパーの制作にも参加。地域で生きる人々の活動、地域活性化の実際を学び取ることができました。

MaKids教室 インターン&百貨店でのイベント企画運営を通じた広報・マーケティングの実践的学習

株式会社S&F PARTNERS

子ども向けワークショップの企画・運営を経験

まず、子供向けプログラミングスクールに参加して運営の基礎を学びました。その後、百貨店のアプリ登録者数増をめざすプロジェクトの企画・運営を担当したり、百貨店での子供向けプログラミングスクール用アンケートをマーケティングスタッフと作成しました。今回はワークショップ運営経験を得るとともに運営の基礎を学び、同時にイベント向けゲームコンテンツのアイデア出しやアンケートの作成、結果の分析も経験しました。

